

国土審議会政策部会 第1回国土政策検討委員会

平成22年9月21日

【小玉課長補佐】 それでは、委員の皆様方おそろいになられたようですので、ただいまから、第1回国土政策検討委員会を開催させていただきます。

私は、国土計画局広域地方整備政策課で課長補佐をしております小玉と申します。本日は、お忙しい中ご出席いただきまして、まことにありがとうございます。議事に入りますまで、暫時、私が司会を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

まず最初にお手元の資料の確認をさせていただきます。初めに座席表、次に議事次第とございまして、資料1、国土政策検討委員会委員名簿。資料2、政策部会設置要綱。資料3、国土政策検討委員会設置要綱。資料4、国土政策検討委員会における3つの検討テーマについて。資料5、大都市圏戦略の策定・推進について。資料6、内発的地域戦略に対する支援について。資料7、「新しい公共」の担い手によるコミュニティづくりについて(現状と課題)。資料8、検討グループについて(案)。資料9、今後のスケジュール(案)。最後に参考資料集となっております。

以上の資料に不備等ございましたら、事務局までお知らせください。

続きまして、本委員会の設置につきましてご説明させていただきます。本委員会は、先ほど開催されました第2回政策部会において設置が決定されたものでございます。お手元の資料3、国土政策検討委員会設置要綱の2、任務の規定をごらんいただきますと、当委員会は、大都市圏戦略、官民連携による内発的地域戦略づくりに係る政策、新しい公共の担い手によるコミュニティづくりに係る政策等に関する事項について調査審議していただくことを任務としておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

続きまして、本日の会議の公開につきましてご説明させていただきます。同じく資料3、委員会設置要綱の5、議事の公開の規定によりまして、会議、議事録ともに原則公開することとされており、本日のこの会議も公開の扱いにさせていただきます。この点につきまして、あらかじめご了承くださいませようをお願いいたします。

それでは、初めに国土交通省国土計画局長の中島よりごあいさつ申し上げます。

【中島国土計画局長】 国土計画局長でございます。先ほどの政策部会からの引き続いてのご参加の先生もたくさんいらっしゃいますので、大変長丁場で恐縮でございますけれども、よろしくお願いいたします。

先ほど申し上げましたけれども、きょうは副大臣、政務官、交代の日でございまして、先ほどは出たり入ったりで大変失礼いたしました。すべて無事終わりました、この会議はずっと居れそうな雰囲気でありますのでよろしくお願いいたします。

ただ、本委員会に関しましてはロジばかり続いておりまして、まことに重複感の多い進行でまことに申しわけございませんけれども、これで万事終了でございまして、この後、それぞれグループに分かれて本格的な議論にご参加いただきたいと思います、どうぞよろしくお願い申し上げます。大変慌ただしい日程で、私どもも出たり入ったりでご迷惑をかけているのですが、どうぞひとつよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

【小玉課長補佐】　　続きまして、本日は正式な第1回目の委員会でございますので、国土政策検討委員会の委員の方々を座席順にご紹介させていただきます。

岩崎美紀子委員でございます。

【岩崎委員】　　岩崎でございます。よろしくお願い申し上げます。

【小玉課長補佐】　　大川陸治委員でございます。

【大川委員】　　大川でございます。どうぞよろしく。

【小玉課長補佐】　　木下斉委員でございます。

【木下委員】　　どうも木下でございます。よろしくお願い申し上げます。

【小玉課長補佐】　　小田切徳美委員でございます。

【小田切委員】　　小田切でございます。よろしくお願い申し上げます。

【小玉課長補佐】　　柴田いつみ委員でございます。

【柴田委員】　　柴田です。よろしくお願い申し上げます。

【小玉課長補佐】　　高木敦委員でございます。

【高木委員】　　高木でございます。よろしくお願い申し上げます。

【小玉課長補佐】　　清原慶子委員でございます。

【清原委員】　　清原です。よろしくお願い申し上げます。

【小玉課長補佐】　　奥野信宏委員でございます。

【奥野委員長】　　奥野でございます。

【小玉課長補佐】　　進士五十八委員でございます。

【進士委員】　　進士です。よろしく。

【小玉課長補佐】　　戸田敏行委員でございます。

【戸田委員】　　戸田でございます。よろしくお願い申し上げます。

【小玉課長補佐】 関根千佳委員でございます。

【関根委員】 関根と申します。よろしくお願いいたします。

【小玉課長補佐】 林泰義委員でございます。

【林委員】 よろしく申し上げます。

【小玉課長補佐】 辻琢也委員でございます。

【辻委員】 よろしく申し上げます。

【小玉課長補佐】 村木美貴委員でございます。

【村木委員】 村木です。よろしくお願いいたします。

【小玉課長補佐】 根本祐二委員でございます。

【根本委員】 根本でございます。よろしくお願いいたします。

【小玉課長補佐】 原田昇委員でございます。

【原田委員】 原田でございます。よろしくお願いいたします。

【小玉課長補佐】 松下正幸委員でございます。

【松下委員】 松下です。よろしくお願いいたします。

【小玉課長補佐】 望月久美子委員でございます。

【望月委員】 望月です。よろしくお願いいたします。

【小玉課長補佐】 また、本日はご欠席でございますが、浅見泰司委員、家田仁委員、磯部力委員、卯月盛夫委員、大橋弘委員、川勝平太委員、菰田正信委員、永沢映委員、西村幸夫委員、橋田紘一委員、宮脇淳委員がそれぞれご就任されております。

なお、本日は本委員会の定足数を満たしておりますことを念のため申し添えさせていただきます。

続きまして、本委員会の委員長でございますが、資料2、政策部会設置要綱の5の規定に基づきまして、先ほど開催されました政策部会におきまして政策部会長より奥野委員が委員長の指名を受けておられます。それでは、早速ですが、以降の議事進行は委員長にお願いしたいと存じます。奥野委員長、よろしくお願いいたします。

【奥野委員長】 改めまして、奥野でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。この委員会、大変テーマが幅広うございます。先ほどの政策部会でも、まとまるのか、霧がかかっているなど、いろいろなご意見、ご心配が出ております。また、大変短い時間の中での議論ということになりますが、皆さんの知恵でいい成果を出せればと願っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、本日の議事に入ります。お手元の議事次第をごらんください。本日の議題は、(1)委員会における検討事項について、(2)今後の進め方について、であります。まず、第1の議題につきまして事務局から説明をお願いします。

【中井川広域地方整備政策課長】 国土計画局広域地方整備政策課長の中井川でございます。では、私から第1の議題につきまして資料4に基づきましてご説明申し上げたく思います。なお、資料5から7につきましては時間の都合上、説明のほうは省略させていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

資料4でございますが、政策部会にご出席の皆様は二度目になりますが、恐縮でございます。3つの検討テーマについてでございますが、問題意識といたしましては少子高齢化の中でアジアの成長を取り込む基盤づくりを行う必要がある。日本経済の成長をいかに高めていくかというような観点から今年の5月に国土交通省の成長戦略会議の報告がなされたということでございまして、その中のポイントといたしましては、最新のICTを取り込み、民間の知恵と資金の活用、それから世界の成長を取り込む。その3つのポイントに基づきまして新しい市場環境を構築していこうということでございます。

それで、本報告におきましては5つの分野についての提言がなされております。海洋、観光、航空、国際展開・官民連携とございまして、持続的な成長のためには経済活動の拠点であり、生活の基盤である住宅・都市分野も重要であろうという流れでございます。

そうした中でポイントといたしましては大都市イノベーション創出戦略と地域ポテンシャル発現戦略ということでございまして、大都市イノベーション創出戦略につきましては、国際競争力の強化という観点から国としての戦略を明確化し、民間の知恵を引き出すというために大都市圏の戦略の策定・推進をしていこうということでございます。それから、地域ポテンシャル発現戦略につきましては、地域のポテンシャルをいかに引き出していかというような観点から、官民連携による内発的な地域戦略づくりと「新しい公共」の担い手によるコミュニティづくり、それをテーマにやっっていこうということで提起がされたということでございます。2ページ、3ページはそれぞれ具体的な内容を記載しているところでございます。

それで、4ページ目に具体的な工程表という形で整理されているわけでございますが、早期に実現すべきものとしていたしまして大都市圏戦略の策定・推進ということで、基本法の制定、大都市圏戦略の策定というものが早期の課題として挙げられているということ。それから、地域ポテンシャル発現戦略につきましては官民連携の地域づくりを促進するため

の仕組みづくり、そういうものをするようにというような形でテーマが与えられているところでございます。先ほどの政策部会でもご議論がございましたが、論点が非常に幅広いというようないろいろなご指摘をいただいているところでございますが、事務局といたしまして、その3つのテーマについての問題意識を改めて私どもとして申し上げたいと思います。

まず、最初の大都市圏戦略につきましては、全国の成長につながる大都市圏の国際競争力の向上のためにどのような機能に着目して戦略を立案していくべきか。すなわち、戦略に盛り込むべき事項は、内容はどんなものであるのかという点。それから、2点目といたしましては、財政状況が一層厳しくなる中で大都市圏における社会資本ストック、これは先ほども提起された先生がいらっしゃったと記憶しておりますが、社会資本ストックの整備、維持更新をどのように戦略的に進めていくべきなのかという点。それから、3点目、これも先ほどもご提起がありましたけれども、大都市圏戦略を有効に推進するための仕組み、推進主体、役割分担はどのようにあるべきなのか、その点が事務局としての問題意識であるわけでございます。もちろん、これ以外にもいろいろな論点があろうかと思っておりますけれども、一応、私どもの問題意識としてはそういうところでございます。

それから、2番目の地域戦略でございますけれども、これにつきましては地域の多様な主体から構成される官民連携主体による自発的・戦略的地域づくり、これにつきましても先ほどもいろいろとご議論なり、ご提案なりいただいたわけでございますけれども、そのために必要となる仕組みはどのようなものか。これはまさに先ほどの戦略会議の中でも具体的なテーマとして与えられているところでございます。そういう中で特に官民の役割分担、端的に言いますと位置取りと申しますか、位置関係というものはどのようにあるべきであるのかというのが私どもの問題意識、それが仕組みにどのように反映されていくのかというところが私どもの問題意識でございます。

それから、3番目の新しい公共でございますけれども、これにつきましては、まず第1点目といたしまして、地域資源をいかに活用していくか。この場合の地域資源は人材なり資金であるわけでございますが、そういう資源がある一方で、新しい公共の主体が資源の不足に悩む、そういう現実があるわけでございます。この地域資源の有効活用の観点から、こういうものの動員を促進していくような仕組みというものがどのようにあるべきかという点。それから、2点目がこういう新たな公共の担い手に対する情報ノウハウの提供をどのようにしていくかという点でございます。地域の課題解決に立ち向かう新しい公共の主

体が事業の運営に際して情報やスキル、ノウハウ不足に悩むという現実があるわけですが、これを解消するための手法なり、手段というのはどういふものがあるべきか。これが仕組みの中にどのように反映されていくのかという点でございます。

3点目が地域との共働、連携ということでございまして、新しい公共の考え方に基づく1つ1つの主体の活動というのがあるわけでございますけれども、これがこれまでの公共とでも申しますか、国や地方公共団体といった、そういう方々との共働といいますか、共働の場合も連携の場合もあるでしょうけれども、それをどうやっていくか。それから、そのほかにも地域にはコミュニティ、さまざまな活動主体というものがございまして、そういうものとの共働や連携、これは当然、新しい公共の担い手同士の連携ということも含まれるわけでございますが、それを推進するための環境づくりというものはどのようにあるべきだろうか。これが私どもが今回お諮りするに当たっての1つの問題意識ということでございます。もちろん、そのほかにもいろいろなご指摘の点、視点があろうかと思っておりますので、それはまた今後ご議論をしていただければということでございます。

私からの説明は以上でございます。

【奥野委員長】 ありがとうございます。

ただいまの説明について、ご質問、ご意見等あろうと思っておりますが、大変恐縮ですが、今日、時間が制約されておまして、これからの議論の中でご確認いただければということでご了承いただければと思っております。ありがとうございます。

続きまして、議題2の今後の進め方に移りたいと思っております。こちらにつきましては私から提案をさせていただきたいと思っております。本委員会におきましては、先ほど事務局の説明にありましたように、検討テーマが、1. 大都市圏戦略、2. 地域戦略、3. 新しい公共と大きく3つに分かれておりますので、今後の検討を効率的、円滑に進めるために、各テーマごとに専門の委員の方で集まっていただいて、そこで個別に検討を進めていただけたらどうかと思っております。詳細について、事務局から説明をお願いします。

【中井川広域地方整備政策課長】 それでは、お手元の資料8及び資料9をごらんいただきたいと存じます。まず資料8でございますが、今、委員長からご指摘がありましたように、3つの分野ごとに各担当するご専門の先生方を一応、担当ごとにグループ分けをしたグループ案でございます。なお、委員長におかれましては、全体を総括するという立場から、可能な限り各委員会にご出席されたいというご意向が示されているところでございます。

それから、資料9でございますが、今後のスケジュールでございます。1枚目でございますが、これはこの国土政策検討委員会全体ということでございますが、本日、この委員会で進め方等を決めていただいた後、3つのテーマごとに各検討グループで議論をしていくということでございます。そして、各3グループの検討の結果といたしますか、成果を持ち寄っていただきまして、できれば11月中に第2回を開きたい。場合によってはもう少し先、遅れることもあろうかと思いますが、それを持ち寄っていただいてご報告、ご審議をいただき、12月中もしくは1月中には最終報告の取りまとめ、この辺の開催頻度につきましては現段階ではまだわからないところでございますが、こういう形で開催していきたいということでございます。

それから、2ページ目をお開きください。現時点での委員各位のスケジュールを調整していただいた結果、現時点で大都市圏、地域戦略、新しい公共につきましては3回ほどスケジュールを入れさせていただいてございます。各検討グループに所属の委員の方々へのご出席をお願いしたいと存じ上げるところでございます。

私からの説明は以上でございます。

【奥野委員長】 ありがとうございます。

資料8にございますように3つのグループに分かれていただいて、これから検討を進めてまいりたいということでございますが、よろしゅうございますね。ありがとうございます。それでは、そうさせていただきます。

なお、各検討グループの取りまとめ役ですけれども、大都市圏戦略につきましては、本日ご欠席ですが浅見委員、地域戦略につきましては辻委員、新しい公共につきましては小田切委員に、それぞれお願いしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

早速ですが、本日の委員会終了後、地域戦略検討グループと新しい公共検討グループについては議論を開始させていただきます。

それでは、これもちまして本日の第1回国土政策検討委員会を終了したいと思います。終わりに当たりまして、事務局から連絡事項があればお願いいたします。

【小玉課長補佐】 それでは、事務局より、本日の地域戦略検討グループと新しい公共検討グループについてご案内させていただきます。まず、地域戦略検討グループにつきましては、引き続きこの会議室で行います。準備等ございますので、10分後ぐらい、大体3時45分ぐらいまでには開始させていただきたいと考えております。準備でき次第、開催させていただきたいと考えております。

また、新しい公共検討グループにつきましては、恐れ入りますが会議室のご移動をお願いいたします。会議室ですが、この隣の建物、合同庁舎第2号館の地下2階の共用会議室になります。こちらは移動などございますので、大体15分後くらいをめぐりに開始とさせていただきますと考えています。移動される委員の方々のところには、後ほど私のほうから案内図をお渡しさせていただきたいと思っております。お手数ですが、本日の配付資料をそのままお持ちいただくようお願いいたします。

なお、大都市圏戦略検討グループにつきましては、先ほどのスケジュールにもありましたように、9月27日（月）の朝8時半より合同庁舎2号館16階、観光庁国際会議室で開催させていただく予定です。

なお、本日これでお帰りになられる委員におかれましては、本日お配りいたしました資料につきましては、席にそのまま置いていただければ、後ほど事務局からお送りさせていただきます。本日はありがとうございました。

— 了 —